

知ってもらいたい!

忍び寄る病気

「糖尿病」編

問い合わせ 市民病院医事課 (☎ 57-0080)

■沈黙の病気、糖尿病

糖尿病は、血糖値を一定にする「インスリン」という膵(すい)臓から分泌されるホルモンが十分に働かないことで、血液中を流れるブドウ糖が増えてしまう病気です。

糖尿病が怖いのは、**自覚症状がないまま進行すること**です。血糖値が高い状態が続くと、初期症状として次のような症状が現れます。

- 頻尿・多尿 ●多汗 ●のどが渇く など

■そのままにしておくと、さらに症状が…

長期間、糖尿病による高血糖の状態が続くと、心筋梗塞や脳卒中を発症しやすくなります。
また、次の恐ろしい3大合併症の発症リスクも高まります。

- 糖尿病性腎症…腎機能が低下し、透析治療を一生続けなくてはならなくなります。
- 糖尿病性網膜症…視力の低下などが急激に進み、最悪の場合、失明に至ります。
- 糖尿病性神経障がい…痛みなどの症状が出にくくなり、ちょっとした傷により足が腐り、足を切断することにもなりかねません。



糖尿病・内分泌内科
部長 松田淳一

知ってもらいたい! 忍び寄る病気 「糖尿病」編

早期に発見するため、定期的に健康診断を受け、検査結果を確認するとともに、初期症状などで思い当たる人は、すぐにかかりつけ医を受診しましょう。

市民病院では

糖尿病は、長期にわたる自己管理が必要な病気です。その管理をサポートするため、市民病院では糖尿病治療の専門資格を有する多職種のスタッフが連携した「One Team」で、患者さんとの対話を重視したきめ細かな診療を行っています。

●「糖尿病教室」で生活習慣もしっかり改善!

入院患者さんを対象に、毎週、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、公認心理師、歯科衛生士などで構成される「糖尿病チーム」による糖尿病教室を開催。プロと一緒に、生活習慣の改善が図れます。

●合併症には他診療科と連携して治療!

糖尿病患者が心筋梗塞や脳卒中などの合併症を発症した際には、総合病院として各診療科との連携を密にして、病状に合わせた治療を行います。

TOPICS

新しい2つの専門外来、開設!

～肥満症治療外来～

肥満が原因で糖尿病や脂質異常症などの他の病気を併発している「高度肥満症」と診断された患者さんを対象に、糖尿病・内分泌内科に「肥満症治療外来」(完全予約制)を開設しました。この外来では、食事療法や運動療法などの内科的治療を行う他、内科的治療が困難な場合など症状に応じて、外科的治療である「腹腔鏡下スリーブ状胃切除術」(保険適用)も行っています。

～睡眠外来(2月から)～

カウンセリングを行い、問題についてしっかりと話を聞きます。患者さんごとの思考や行動の「癖」を把握し、行動パターンを整えていくことで症状を改善していきます。

医師:宮崎総一郎(中部大学特任教授)
対象:不眠症などの睡眠障がい困っている人
診療日:毎週月曜日(完全予約制)

いずれも受診を希望される場合は、かかりつけ医と相談の上、紹介状を持参してください。

※詳しくは、市民病院ホームページをご覧ください。